

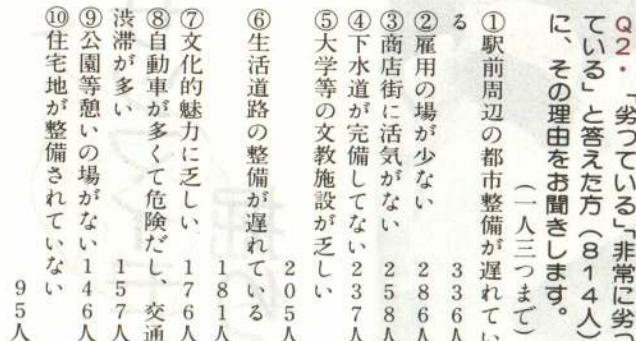
住みよいまちづくりのために 第四回「世論調査」まとまる

市では今年九月、市内に住む二十歳以上の男女千四百六十五人(回収率九六・四%)を無作為抽出して「第四回世論調査」を実施しました。この調査は、住みよいまちづくりを進めるため、皆さんのが市の現状について、そして将来についてどのようにお考えになつておられるかを知るために実施しているものです。今年は「都市環境」「交通体系」など五項目、二十六の設問にお答えいただきました。市では、今後、この結果を市の基盤構想の資料や、いろいろな分野の基礎資料として活用させていただきます。

テーマI<都市環境>

Q1・大館市の都市環境をどう思いますか

- | | |
|-------------|-------|
| ① すぐれている | 1.2% |
| ② 比較的すぐれている | 4.9% |
| ③ 普通である | 36.3% |
| ④ 劣っている | 49.8% |
| ⑤ 非常に劣っている | 5.8% |
| ⑥ 無回答 | 2.0% |



駅前周辺の整備と雇用の場を

Q3・魅力ある住みよい都市にするためのポイントは?

①道路、住宅、下水道など生活環境の整備

②産業の振興

③教育文化施設の充実

④福祉対策の拡充

⑤住民の連帯感づくり

①の「道路・整備」は大館下川沿、真中地区でトップ。他の地区では②の「産業」をトップにあげています。いずれにしても、前からもわかる通り、当市にとつて住みよいまち、発展するまちとなるためには、生活環境の整備とともに産業の振興による若年から中高年層にいたるまでの広い雇用、就労の場の確保が最大の課題であ

以下、「スポーツや娯楽施設がない」「交通の便が悪い」「古きよきものがない」などとなっています。

地区別にみて特徴的なことは、「駅前周辺の都市整備」についてがわかります。

<地区別回収状況>

地区名	配布数	回収数	回収率
大館	648	635	98.0%
駅前内	210	181	86.2
長木	107	106	99.1
上川沿	60	59	98.3
下川沿	102	101	99.0
真中	41	40	97.6
二井田	62	61	98.4
十二所	110	104	94.5
花矢	180	178	98.9
計	1,520	1,465	96.4

市長の 「考える生活」



No. 78



Q4・過去の調べでは「地域で整備してほしいもの」のトップに「子供の遊び場」があげられています。

Q5・公共下水道に市は未着手ですがこれについてどうお考えですか

①家庭雑排水が河川や農業用水の主要な汚濁原因となっています。公共下水道の早期着工を定期的に行う

②地区や町内ごとに側溝等の清掃を定期的に行う

③公共下水道建設には莫大な事業費を要するので、当面は家庭雑排水の規制を強化する

②住民の所有する土地を無償で借地し、遊具等は市が設置して管理運営は地域住民で

③地区住民が設置する

Q6・過去の調べでは「地域で整備してほしいもの」のトップに「子供の遊び場」があげられています。

Q7・魅力ある住みよい都市にするためのポイントは?

①道路、住宅、下水道など生活環境の整備

②産業の振興

③教育文化施設の充実

④福祉対策の拡充

⑤住民の連帯感づくり

①の「道路・整備」は大館下川沿、真中地区でトップ。他の地区では②の「産業」をトップにあげています。いずれにしても、前からもわかる通り、当市にとつて住みよいまち、発展するまちとなるためには、生活環境の整備とともに産業の振興による若年から中高年層にいたるまでの広い雇用、就労の場の確保が最大の課題であ

りません。日常生活の中で「なぜ」という疑問と注意、「どうすれば」という志向と解決力をもつ習慣を養わなければ、現代社会とかけ離れてしまうことになります。しかし、「生活の中での思考力」、これは一人の努力だけでなく、社会教育として、そして風土として作りあげて行かなければなりません。

地場産業の振興といつても、直接的なものだけでなく、こういう側面もあるのではないかでしょうか。